

【勝利する人生になるために(1)】

今日の聖書本文:エペソ人への手紙6:10-13/暗唱聖句:エペソ人への手紙6:13



説教者: 鄭南哲牧師

(Rev. Jung nam-chul)

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！GWの一週間はいかがお過ごしでしたか。

忙しさの中で疲れたみなさんの体も心も精神的にもゆっくり休息と再充電の時間となりましたか。新しい5月が始まりました。家庭の月と言われるこの5月にも教会の全家族とご家庭の上に神様の豊かな愛と恵みがあの暑い太陽のように照り付けて下さいますように切にお祈り申し上げます。

GWが終わり、忙しくなる今月、【勝利する人生、勝利するクリスチャン】として我々が歩むためにどうすれば勝利できるか共に主の御言葉を通してその勝利の条件についてこれから7週間共に学んでいきますのでよろしくお願いします。

<1. 信仰の生活は霊的戦い>

愛するみなさん、現代の戦争を‘戦争というのは偶然ではなく科学だ。’とよく言われています。現代の戦争で勝つためにはかならず、つよい軍人力、戦略、尖端の武器などが必要とされている事実はだれでも知っているはずですが、こんにちアメリカも、日本も、そして中国とロシアも世界強国にされている理由の一つがまさにどんな国にもまけないぐらいの軍事力があるからだと思えます。信仰の生活も同じです。信仰の生活も戦争です。戦いがあると聖書はかたっています。神様は聖徒たちが最善を尽くして戦いにぶつかることを望んでおられます。

<2. 霊的戦いの対象>

今日の本文を見ると11-12節に私たちの戦いの対象は血肉に対するものではなく、悪魔とこの世のもろもろの悪霊にたいするものだと教えて下さっています。みなさん、聖書にはかならず、この世に悪霊の存在があると教えています。今日の時代はそんなものは全部嘘つきだし、人間が作った映画とかで出る作り話だと思込んでサタン、悪霊の存在について信じようもしない人がいれば、ある人はこれらのことに関心をおきすぎ、聖書、信仰の基本と常識も無視して、ただ神秘的に理解しようとする人もいます。特に私たちクリスチャンはこれらのことをわきまえる必要があります。かぜをひいたのも悪魔のせいだし、道を歩きながらころんだのも悪魔のせいだし、人生の失敗と苦しみもなにもかも悪魔のせいにするあるカルトの教会の教えなどに惑わされではなりません。

今日我々が覚えるべきことはまず、私たちの戦いは人間同士ではなく悪魔、そして天にいるもろもろの悪霊たちとの戦いであることです。これは私からの話ではなく、聖書つまり、神様からの御教えなのです。今日のさまざまな主の教会をみながらいつも残念に思っていることは、いざ私たちが戦うべきの対象との戦いはともかく間違っただけに主にある一つの家族であり、兄弟姉妹である信徒たちの間で競争し合い、ねたまあい、たたかっていることです。今も悪魔は自分の身分は隠したまま人間の世界に入り込んで、目に見える夫婦の間で、家族の間で、教会員たちの間でお互いが相手をせいにして激しく戦いあつてしまい、結局はお互いが自滅か分裂するようにさせていることです。みなさんもそう思いませんか。とても単純な真理ですが、みなさん、私たちが戦うべきの対象がだれですか。私たちの敵は決して目に見える人間ではないことを心にきざみ覚えましょう。教会の家族、人間たちは憎悪の対象ではなく神様の尊い作品であって、愛すべきの対象であることを今月も、そしていつも心にとめて祈りましょう。

<3. 神のすべての武具というのは？>

さきほども申したように聖徒の人生は霊的戦いの続きです。神様の御言葉は私たちに決して試みがないとは言っていない。むしろ神様のすべての武具を身につけて悪魔との戦いにそなえるようにと教えています。神様の武具を身につけると悪魔たちとのどんな戦いにもでも恐れることなく堅くたつことができると教えてくれます。6章の11節からは神様のすべての武具について説明しています。これらのことを順番に覚える必要があると思いますが、具体的には来週から一つずつ取り上げてしらべてみましょう。神様のすべての武具は何ですか。はじめは14節には腰には真理の帯を、二つ目は胸には正義の胸当てを、三つ目は足には平和の福音のそなえを、四つめは信仰のおおだてを、五つ目は頭には救いのかぶとを、最後六目には御霊のつるぎです。

事実皆さん、この神様のすべての武具というのは私たちにまったく知らない特別なことではありません。当時、ローマ軍人の格好

(かっこう)を想像してみてください。神様の願われているのは打ち勝つための特別な武具を身につけることではなく、**基本の武装**を言われているのです。みなさんがクリスチャンであるならば、ここに提示されていることは大体一度は聞いた事がある内容であり、信仰の生活においては一番基本的なことです。神様は私たちが霊的たたくいに打ち勝つために私たちも知らない新武具を用意しろと言われることはまったくありません。基本武具である六つの中にはあるもの一つだけとか、いくつだけだとか言われてもいません。この六つのなか一つだけでも見逃す事になったら私たちは弱点がばれてしまい、サタンはたえず、私たちの弱点ばかり攻撃してくると思います。われらが自分たちの弱いところを補(ほ)おうとしなければ、サタンは私たちが完全に倒れるところまで、弱点を攻撃してくることは当然なことです。私たちがどちらかが準備できず、弱点を見せてしまうとそれだけサタンからの攻撃に負けやすくなることを覚えてください。聖徒たちをつよく立たせるための神様のご計画は神様のすべての武具です。神様の願われているすべての武具というのは結局基本に忠実することです。これさえできていれば聖徒は十分つよくなれるということです。多くの人たちが信仰の生活において無気力を訴えている理由は特別な賜物などが無いからではけっしてありません。まさしくこの信仰の基本を失ってしまったからです。この信仰の基礎すら回復できれば教会と信徒たちはかならずつよくなります。

1517 年墮落した教会に向って宗教改革者たちが叫んだ宗教改革の基本精神はなんだったと思いますか。そうです。“ad fonts”つまり“**根本に戻ろう**”でした。いま私たちは信仰の基本がきちんと整えられているでしょうか。いや、ここで自身をもってこれ以上準備する必要はないと言える人は一人もいないと思います。

<4. 長所を気をつけなさい！>

基本に充実している人はむしろ自分がつよいと自慢しません。基本の武装は軍人の同然な義務ですので、基本武装がちゃんとできていたと自慢しないのと同じです。

アブラハムをみてください。彼のつよいところは信仰だったのに、後になっては自分の妻を妹だと嘘ついてしまいました。柔和が強かったモーセも憤ることにより約束の地に入ることはできませんでした。誠実だったダビデさえものんびりとお風呂にはいつている他人の妻をみて誘惑に陥られてしまいました。勇敢な人だったペテロもおさない少女のまえでイエス様を三度も知らないかと否定してしまいました。ですから、武装されている者は武装されている者として強められ、そして自分の足りなさをわかった者は自分のたりなさを主にささげ神様の御前で謙遜にひざまずいて祈ることができるみなさんになりますように心からお祈りいたします。

<5. 武具を身につけなくては決して戦いには出れません。>

愛するみなさん、今日エペそ人への手紙の御言葉をとおして神様が具体的に教えてくださる深い意味を吟味しましょう。悪魔が攻撃してくるときは適当に攻撃しません。悪魔は人間よりずるいし、頭がいいです。悪魔も明確な計画の中わたしたちを倒そうとしています。悪い悪魔は聖徒たちがどうすればたおされるか、どうすれば落胆して神から離れていくのかじつと研究します。民族性を研究します。なんとかして日本の人たちがイエス様をふかく信じないように文化を導き、さまざまな方法を研究します。徹底的な計画にしたがって攻撃してくるのがまさしくサタンなのです。ですから私たちも徹底的に神様の助けをもとめなければわたしたちがサタンとの戦いに打ち勝つことはとうてい無理です。自分の才能や知能などは関係ありません。神様の方法と神様の御言葉のみです。‘悪魔にとって適当はない’という事実をわすれないでください。しかし同時にこれも覚えましょう。神様はこの戦いに私たちが弱弱しく出て偶然に打ち勝ったと！叫ぶために召したわけではありません。神様の子供として、そして神様の軍人としてしっかりと整えられサタンとの戦いにおいて確実な勝利を味わいながら生きるために私たちを召したのです。

神様の御言葉をちゃんと読んでみてください。聖書は私たちにたりない戦闘力で戦いなさいとはいつていません。いつも優勢な戦闘力で悪魔を制圧しなさいと命令されているのです。再来週からは具体的に一つ一つ取り調べながら謙遜に自分の長所は神様にささげ、そして自分の弱点はなにか、どこをもっとおぎなうべきなのかを一緒に考える時間になりたいと思います。イエス様は軟弱者たちに御言葉を与えられました。“信じる人々には次のようなしるしが伴います。すなわち、私の名によって悪霊を追い出し、新しい言葉を語り、蛇をもつかみ、たとい毒を飲んでも決して害をうけず、また、病人に手を置けば、病人は癒されます。”

つづけて信仰の基本をしっかりと神様からの勝利を味わう新たな 5 月の信仰の生活になりますようにここからお祈り申し上げます。アーメン！